

## FD 関連研修会 参加報告書

主 催	日本高等教育開発協会 (JADE)
企画名称・テーマ	第 1 回高等教育開発フォーラム
開催日<会場>	2011 年 8 月 29 日 (月) <立命館大学 衣笠キャンパス>
参加者所属	教学部 教育開発課

### 参加報告

8 月 29 日 (月) に立命館衣笠キャンパスで開催された第 1 回高等教育開発フォーラムに参加した。

プログラムは、研究報告、会長講演、事例報告、レイトニュースアワー、FD 担当者のためのワークショップと多彩なプログラムが用意されていた。

研究報告では、名古屋大学の新任教員研修の取り組み、職員が教壇に立ち授業の一端を担う事で学生の実態を知り職員としての自学を促すと言う成蹊大学の SD 活動、東北大学の他大学の FD 担当者がペアとなり相互支援する FD 活動、の 3 つの研究報告がなされた。

名古屋大学ではグローバル 30 で雇用する日本の大学文化に馴染みの無い外国人教員への研修の現状と課題について報告がなされた。

成蹊大学の報告では、教育改善を進めるにあたり FD に加えて SD も重要であり、FD・SD の有機的連携の重要性が指摘された。

最後に、東北大学の取り組みは、他大学の FD 担当者とペアになり相談しながら FD を進めていく取り組みが紹介された。

事例報告では帝京大学が 2011 年より立ち上げた FD センターの取り組みが報告され、立ち上げまでの経緯や今後の活動方針などが報告された。

また、中部大学では、現在取り組んでいる FD 活動について現状と課題が報告された。帝京大学は職員 4 名、教員 3 名の少人数でありながら、携帯授業アンケートシステムの運用、授業改善ビデオ撮影、授業公開、授業サロン (教員の学内 FD ワークショップ)、FD フォーラム、FD 講演会、FD 活動支援経費の補助、教育活動表彰制度など多彩なプログラムを運用していることが報告され、その種類の多さに驚いた。

会長講演やレイトニュースアワーでは JADE の設立目的や、世界的な FD の動向、日本がこれから進むべき方向性等について報告がなされた。

このフォーラムは、国際的動向も視野に入れながら運営されているため、グローバルな視点から FD を見る事ができるが実務的なものではなかった。次回は、教授法開発室長などしかるべき立場の者が参加する方が良いと考える。

以上